

# コード付スチームアイロン 保証書

持込修理

型番	SI-302S	
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.
	お名前	様
保証期間	本	お買上げ日から
	体	1年
販売店	お買上げ日	年 月 日
	住所・店名	TEL. (印)

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、お買上げの販売店、またはシュアお客様相談センターへお問い合わせください。

●お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、本保証書記載内容によりお買上げの販売店が無料修理いたします。

●左の欄に記入のない場合は有効とはなりませんから必ず記入の有無をご確認ください。もし記入がない場合は、直ちに お買上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡してください。

## 保証規定

- 保証期間内（お買上げ日から1年間）に、正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買上げの販売店、電気店へご相談ください。
- つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
  - イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
  - ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
  - ハ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
  - ニ) 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - ホ) 一般家庭以外（例えば業務）に使用された場合の故障及び損傷
  - ヘ) 腐食、穴づまりによる故障及び損傷
  - ト) プラスチックの表面（フッ素樹脂加工も含む）及びメッキの摩耗や打痕による損傷
  - チ) 本書のご提示がない場合
  - リ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書替えられた場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This guarantee is valid only with in Japan.
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。

年月日	サービス内容	点検印
・		
・		
・		

## 株式会社 石崎電機製作所

■シュアお客様ご相談センター 〒340-0807埼玉県八潮市新町9 TEL 048-931-3110

# シュアコード付スチームアイロン

SURE

型番 SI-302S 家庭用

## 取扱説明書

■保証書付

[特長]

- 強力ショット機能  
(専用噴出孔で強力スチームショット)
- かけ面はセラミックコート仕上げ



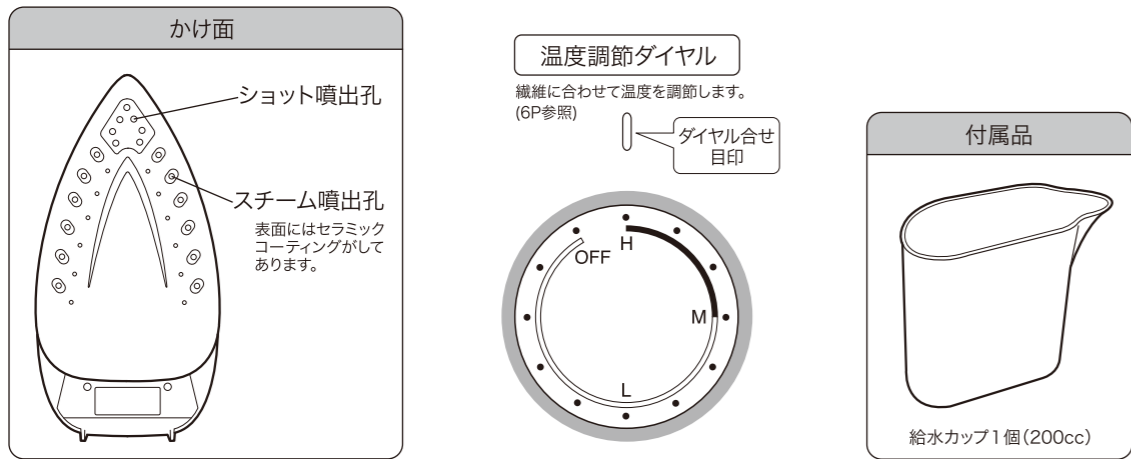
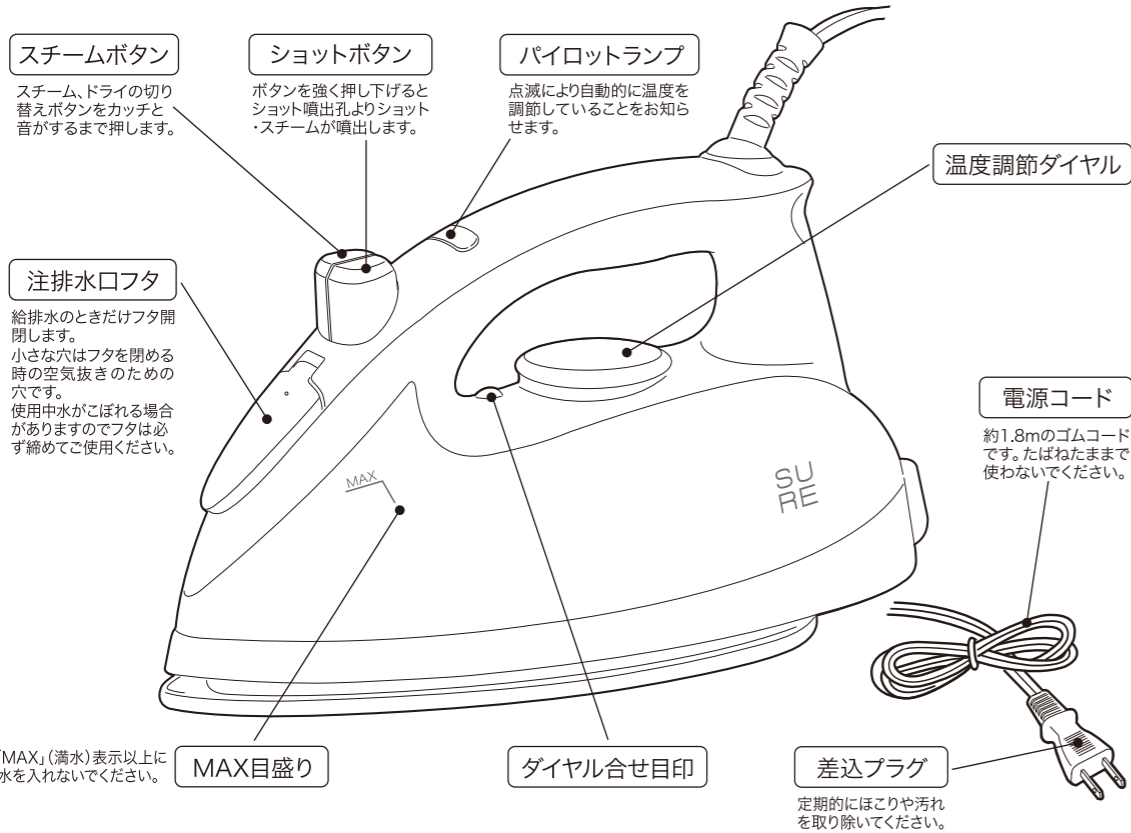
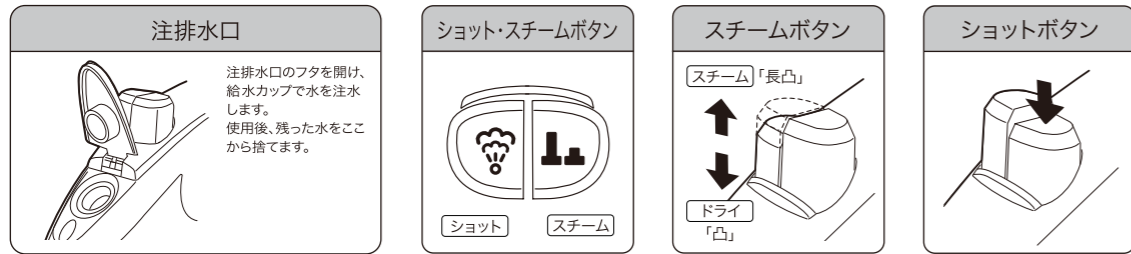
このたびはシュア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように、所定の場所に必ず保管してください。

※タンク内に若干の水滴が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているため、異常ではありません。

もくじ	ページ
各部の名前	1
安全上のご注意	2~5
ご使用方法	6~10
アイロンの上手な使い方	10~11
知っておいていただきたいこと	11
お手入れと保管	12
故障かな?と思ったら	13
仕様	13
保証とアフターサービス	14
保証書	裏表紙

# 各部の名前



# 安全上のご注意(その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示と意味は次のとおりです。

**警告** この警告表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近付いた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

**注意** この注意表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近付いた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

■具体的な絵表示には次の意味がありますので十分に理解してお読みください。

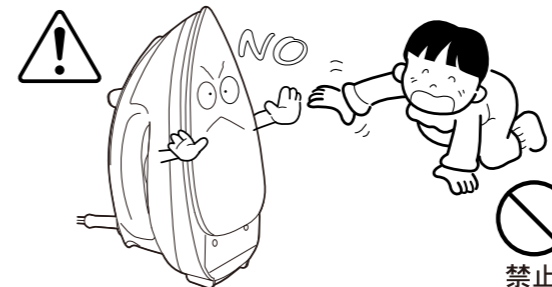
**感電注意** △は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。左図の場合は「感電注意」を表します。

**分解禁止** ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。左図の場合は「分解禁止」を表します。

**プラグを抜く** ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。左図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

## 警告

●子供だけで使わせたり取り扱いに不慣れな方の使用や、幼児の手の届くところで使わない。やけど・感電・けがの原因になります。



●異常・故障時には使用を中止し、差込プラグを抜く。  
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。  
・焦げ臭い臭いがする。  
・電源コードや差込プラグが異常に熱い。  
などの症状が出たら、すぐに販売店または、シユアーお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

シユアー  
お客様ご相談センターへ







差込みプラグを抜く












必ず行う

# 安全上のご注意(その2)









## ⚠ 警告 取り扱い・使い方

 分解禁止	●修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わない。また改造はしない。感電・発火や異常動作してけがの原因になります。	 禁止	●濡れた手で温度調節ダイヤルの操作をしない。感電やけがの原因になります。
 禁止	●本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。	 禁止	●カーテンなど可燃物の近くで使わない。火災の原因になります。




## ⚠ 警告 電源・コード

 禁止	●電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。	 禁止	●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり挟み込んだりしない。コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。
 確認	●差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。感電・ショート・発火の原因になります。	 ぬれ手禁止	●濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。感電の原因になります。
 禁止	●電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。感電・ショート・発火の原因になります。	 禁止	●差込プラグにピンやクリップやごみを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。
 必ず行う	●差込プラグのほこり等は定期的に拭きとる。プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。	 禁止	●差込プラグをなめさせない。乳幼児が誤ってなめないように注意する。感電・けがの原因になります。
 プラグを抜く	●使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	 プラグを抜く	●電源コードに足などを引っかけないように注意する。けがや故障の原因になります。
 必ず行う	●差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。感電・ショート・故障の原因になります。		





## ⚠ 注意 けが・やけどを防ぐために

 禁止	●不安定な場所の上では使用しない。毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。	 禁止	●熱いスチームに触れない。やけどの原因になります。
 確認	●使用中・使用直後は高温部(かけ面)に触れない。やけどの原因になります。	 禁止	●アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。やけどの原因になります。
 必ず行う	●給水や排水のときは、差込プラグを必ずコンセントから抜く。感電の原因になります。	 禁止	●アイロン以外の目的で使用しない。過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。
 禁止	●着用したままの衣類にかけない。やけどの原因になります。	 確認	●湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをする。スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因になります。

## ⚠ 注意 発火・火災を防ぐために

 禁止	●使用中は本体から離れない。火災の原因になります。	 禁止	●熱い状態のアイロンに電源コードを巻き付けない。ショート・発火することがあります。
 禁止	●アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するものを使用しない。火災の原因になります。		

## ⚠ 注意 使用場所

 禁止	●風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所でアイロンかけはしない。火災・感電の原因になります。	 禁止	●壁や家具の近くでは使わない。熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。
 禁止	●火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多いところ、水のかかるところでは使用しない。故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。	 禁止	●ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では使用しない。火災の原因になります。(市販のアイロン台のご使用をお勧めします。)

# 安全上のご注意(その3)




## ⚠ 注意 取り扱い

 禁止	●市販のかけ面カバーは使わない。誤動作の原因になります。	 禁止	●通電直後にスチームを使わない。かけ面から水もれすることがあります。
 禁止	●水をこぼさないで！誤動作の原因になります。水がこぼれたときは、布でふきとってから使用してください。	 禁止	●スチーム使用のときは、スプレーのりを使用しない。かけ面にのりが付着し、アイロンがけがスムーズにできなくなることがあります。
 禁止	●ショットボタンを連続して早く押さない。3秒以内で早く押すと湯滴が出てやけどの原因になります。	 禁止	●ショットスチームの勢いが弱くなったらショットボタンを押さない。湯滴が出てやけどの原因になります。
 禁止	●ボタン・ファスナーなどの固いものにアイロンかけはしない。かけ面の傷付き・コーティングの剥れの原因になります。	 必ず行う	●お手入れ及び持ち運ぶときや保管するときは、アイロンが十分に冷めてから行う。やけど・火災の原因になります。
 禁止	●業務使用は行わない。一般家庭用のアイロンです。ご使用方法を理解せずに不特定多数の方や業務でご使用されることはアイロンの早期故障や重大事故につながります。	 確認	●注水時、必ずスチームボタンを「ドライ」にしてください。かけ面から水もれがあります。
 必ず行う	●水は蒸留水または飲料水を使用する。にごった水などを使うと、水アカがたまり腐食や故障の原因になります。	 必ず行う	●アイロンかけしている衣類などが異常に発煙したり発火した場合は、すぐに温度調節ダイヤルを「OFF」にし、差込プラグを抜く。火災の原因になります。
 必ず行う	●衣類などに付いているアイロンマークを必ず守る。衣類などのこげ・変質などの原因になります。(絵表示の説明は6ページをご覧ください。)	 確認	●水タンクへの注水は「MAX」目盛りまで。目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼれます。
 必ず行う	●通電しないとき及び保管中は、必ず操作ダイヤルはドライの位置にする。操作ダイヤルをスチームの位置にしないでください。タンク内部の残水により、スチーム噴出孔から水もれしたり、アイロン内部が腐食します。	 必ず行う	●落下などにより本体が破損した場合は、差込プラグを抜いて修理の依頼を行う。感電事故の原因になります。
 必ず行う	●お手入れのときは、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行なう。感電事故の原因になります。	 必ず行う	●3~5年に一度は定期点検を行う。本体内部にほこりなどがたまったまま長時間使用すると、火災や故障の原因になります。(有償点検となります。)
		 禁止	●アイロン内部にピンや針金などの異物を入れない。また、衣類に縫い針などを刺したままアイロンかけをしない。感電したり、ショートや故障の原因になります。




# ご使用方法(その1)

## 温度設定の仕方

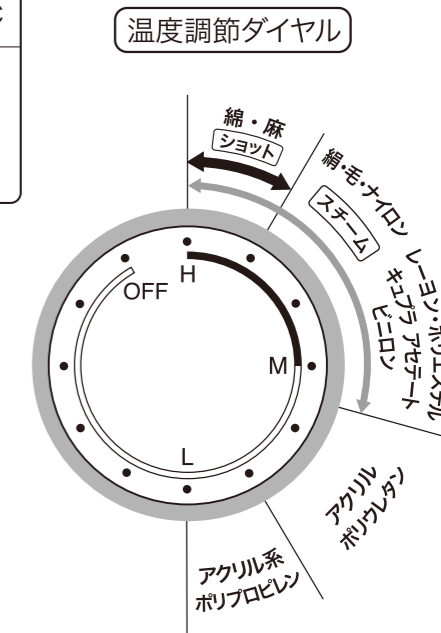
おかけになる布地に絵表示のない場合は、あて布をしてください。

温度設定位置	L (低温)	M (中温)	H (高温)
かけ面の温度	約80~120℃	約140~160℃	約180~200℃
絵表示			

●ビニロンには湿り気を与えてアイロンをかけないでください。

■絵表示の見かた		
		
～印はあて布をする意味です。	裏から布地の裏側から掛ける意味です。	アイロンかけはできません。

※その他「スチーム浮かしかけ」「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。



- おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度調節ダイヤルで温度設定を合わせてください。
- 布地に合った温度設定でアイロンかけをしている時に、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かししたりすると布地をいためることがありますので注意してください。
- 絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度設定ダイヤルで合わせてください。
- 混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。
- 低温・中温および熱に弱い布地には「当て布」をするか「ためしかけ」をしてください。
- 布地のテカリ防止をするには「当て布」をしてください。

## スチーム使用のポイント

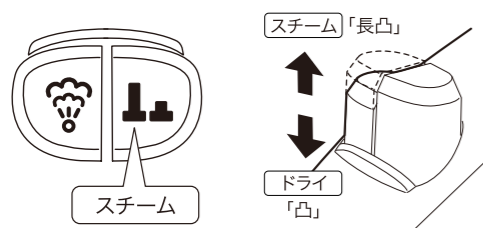
- 「スチーム」への切り換え直後は、スチームが出にくいことや、かけ面の温度により不規則に出る場合がありますが故障ではありません。
- スチームの出始めに白い粉が出る場合がありますが異常ではありません。周囲の安全確認し、スチームを空噴出してからアイロンかけを行ってください。
- スチームアイロンで使用するとアイロンや水タンクの外側に水滴が付着する場合があります。スチームが結露するため異常ではありません。水滴が多い場合はふき取ってください。

# ご使用方法(その2)

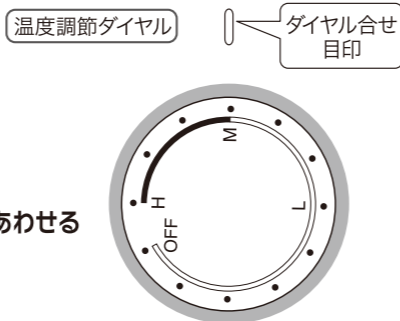
## スチームアイロンとしての使い方

### ■温度調節ダイヤルとスチームボタンの使い方

- 「スチーム」使用のときは、必ず温度調節ダイヤルを「M」から「H」にし、スチームボタンをドライ「凸」→スチーム「長凸」に切換えてください。



スチームボタンを  
スチーム  にあわせる



## 1 水タンクに給水する

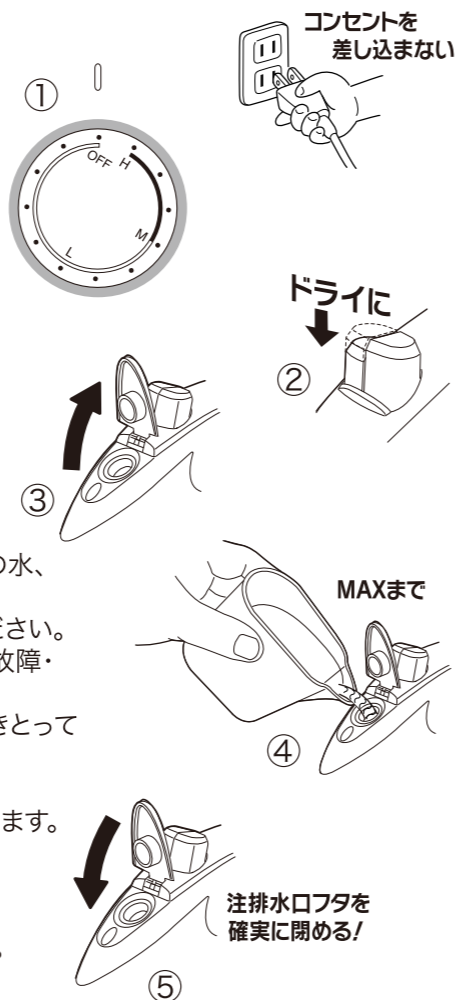
- 給水しスチーム使用の準備ができるまで差込プラグをコンセントに差し込まないでください。

- ① 温度調節ダイヤルを「OFF」にしてください。
- ② スチームボタンは、必ずドライ「凸」にしてください。  
スチーム「長凸」のままでは、かけ面から水もれます。
- ③ 注排水口フタを開けます。

- ④ 付属の給水カップを使い「MAX」目盛り以下まで水をゆっくり入れてください。

- 「MAX」以上に水を入れしないでください。
- 水は蒸留水または飲料水を使用してください。
- 次の水は入れしないでください。  
ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、香料を含んだ水など。
- 水タンクに水を入れる際には必ず給水カップをご使用ください。  
直接、水道から入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショートのおそれがあります。
- 注水の時、水がアイロンの外側にこぼれたときは、布でふきとってください。
- きれいな容器を使用してください。  
汚れが残っている水を使用すると、衣類を汚す原因になります。

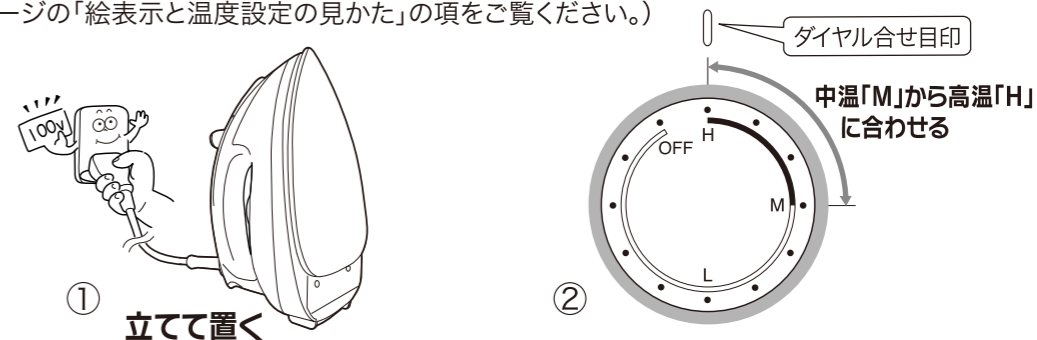
- ⑤ 注水が終わったら注排水口フタを確実に閉めてください。



⑦

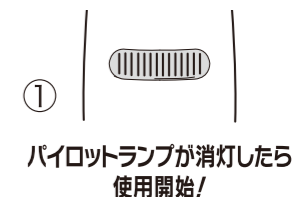
## 2 温度設定をする

- ① アイロンを立てて置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに、根元までしっかりと差し込んでください。
- ② 温度調節ダイヤルを中温「M」から高温「H」に合わせてください。  
(6ページの「絵表示と温度設定の見かた」の項をご覧ください。)



## 3 使用開始する

- ① 適温になるとパイロットランプが消えて使用開始できます。
  - ② アイロンを水平にしてスチームボタンをスチーム「長凸」に切換えるとスチームが噴出します。
- スチームが出にくいときは、スチームボタンを数回押してください。
  - 水が少ない場合は、「MAX」目盛りまで水を入れてください。



### ※パイロットランプの点灯と消灯

使用中は、パイロットランプが消灯=適温 / 点灯=通電加熱を繰り返します。  
パイロットランプ点灯時は消灯してからご使用ください。

### ▲ 注意

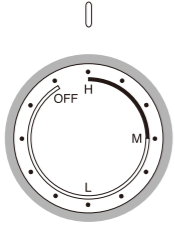
- スチームは高温ですので、やけどなどに十分注意してください。
- 使用中・使用直後は高温部(かけ面)に触れないでください。やけどの原因になります。
- 使用中は本体から離れないで下さい。火災の原因になります。

⑧

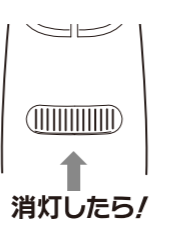
# ご使用方法(その3)

## ショットスチームを使用する

1、温度調節ダイヤルを高温「H」にします。



2、パイロットランプが点灯後、消灯したら使用開始。

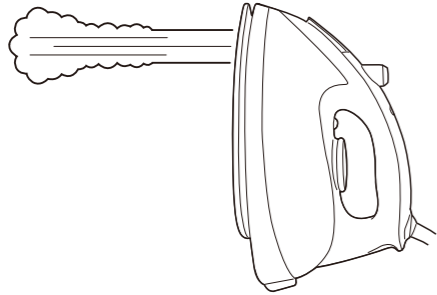


3、ショットボタンを押すとショットスチームが出ます。

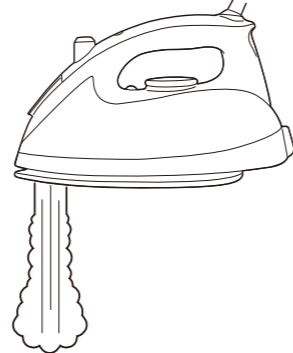


スチームのやけど、水漏れや湯滴の発生などの防止のため、使用方法を十分ご理解いただき、正しくお使いください。

- スチームを人に向けたり、着用した衣類にショットしない。
- 高温「H」以外での使用や、パイロットランプ点灯中(加熱中)に使用しない。必ず高温「H」で使用する。
- 横向きや逆さで使用しない。
- ショットは連続で行わない。必ず3秒以上の間隔をあける。



●スタンディングショット アイロンを垂直に



●パワーショット アイロンを水平に

## 注意

- 高級品や特殊加工されたものは、かけ面を衣類から約10cmほど離し、目立たない所のためしかけを行ってからご使用ください。衣類によりダメージを受ける場合があります。特にベルベット、アクリルナイロン、カシミアなどはご注意ください。
- ショットスチームが出にくいときは、
  - ①水タンクの水が少ない場合は、給水してください。
  - ②ショットボタンを数回押してください。それでも出にくいときは、さらに数回押してください。
- コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してショットしてください。
- 皮革製品・絹などには使用しないでください。衣類を傷める原因になります。

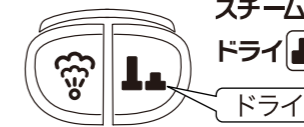
4. 使用後アイロン内部の腐食防止のため、次の事項を必ず行なってください。

- ①温度調節ダイヤルを「OFF」にして差込プラグをコンセントから抜いてください。
- ②スチームボタンを押してドライ「凸」に合わせた後、注排水口フタを開けて水を捨ててください。
- ③再度差込みプラグを差し込んで温度調節ダイヤルを高温「H」にし、約5分間通電し内部乾燥してください。
- ④差込みプラグを抜きかけ面が冷めてから安全な場所に立てて置きます。
- ⑤腐食防止のため、スチームボタンは必ずドライ「凸」に合わせてください。

## ドライアイロンとしての使い方

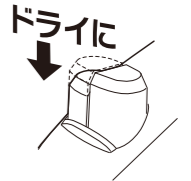
### 温度調節ダイヤルとスチームボタンの使い方

- スチームボタンをドライ「凸」に合わせてください。



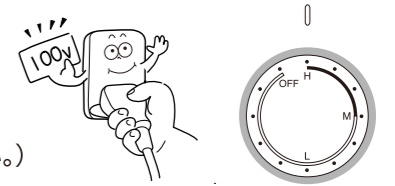
スチームボタンを  
ドライ「凸」にあわせる

ドライ



## 1 温度調節をする

- ①アイロンを立てて置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに、根元までしっかりと差し込んでください。
- ②温度調節ダイヤルを回して布地にあった温度設定に合わせてください。(6ページの温度設定の仕方)の項をご覧ください。



## 2 使用開始する

- ①適温になるとパイロットランプが消えて使用開始できます。

※パイロットランプの点灯と消灯

使用中は、パイロットランプが消灯=適温/  
点灯=通電加熱を繰り返します。パイロット点灯時は消灯してからご使用ください。



パイロットランプが消灯したら  
使用開始!



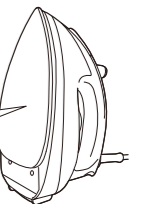
通電中はパイロットランプが  
点灯!

## 3 使用後

- ①温度調節ダイヤルを「OFF」にして差込プラグをコンセントから抜いてください。
- ②かけ面が冷めてから安全な場所に立てて置きます。



冷めてから



## アイロンの上手な使い方(その1)

- 必要以上の力をかけないで衣類の上をすべらすように軽くかけるだけで十分です。



- とくに折り目をはっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかり押さえます。

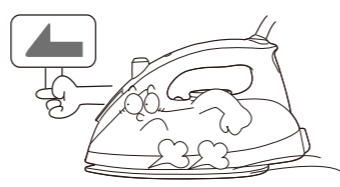


## アイロンの上手な使い方(その2)

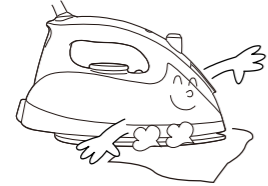
- ウールやセーターのような毛足の長い繊維には「浮かしかけ」をしてスチームを当てます。



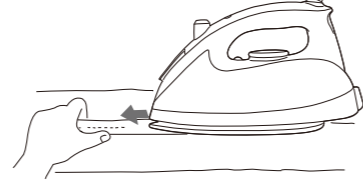
- アイロンを往復させたりすると余分なシワができます。一定方向に動かしましょう。



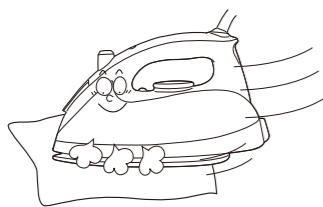
- アイロンかけは、ドライで低温の布地から。繊維をいためる恐れもなく、早くできます。



- 衣類の縫い目に合わせ、縫い目を引っ張り気味にするのがポイントです。



- 適度な温度と湿り気でサッと仕上げるのがコツです。

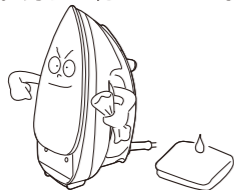


- ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの予熱を利用しておかけください。

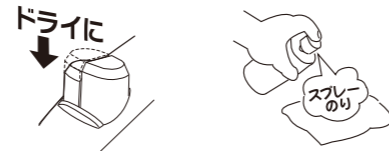


## 知っておいていただきたいこと

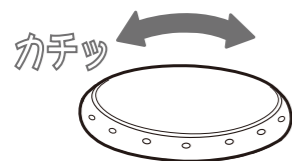
- かけ面のセラミックコーティングは磨耗してもそのまま使えます。汚れが付いたときは拭きとってください。



- スプレーのりをご使用の場合は、スチームボタンを必ずドライ「凸」に合わせてご使用ください。スチームで使用するとアイロンのすべりが悪くなります。



- パイロットランプが点灯するときや、温度調節ダイヤルを回すときに、サーモスタットの動きで「カチッ」いう音がしますが、異常ではありません。



- 長くお使いいただくと、かけ面のスチーム噴出孔に白い粉が付着してきます。これは水道水のカルキですので濡れた布か、つま楊枝などで取り除いてください。白い粉が衣類に付いたときは、払い落としてください。

- 洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると茶色に変色する場合があります。

## お手入れと保管

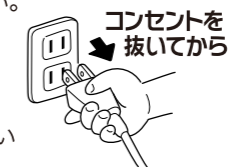
### 警告

- 必ず本体、特にかけ面が十分に冷めてから行う。ご使用後、手をかざし熱さを感じた時は、冷めるまでお手入れを行わないでください。やけどの原因になります。

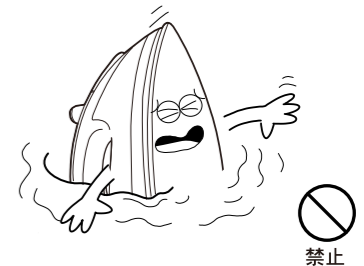


### 注意

- お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。濡れた手で抜き差しをしないでください。ショート・感電やけがの恐れがあります。



- 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。ショート・感電の原因になります。



- ご使用ごとに、必ずお手入れを行なってください。

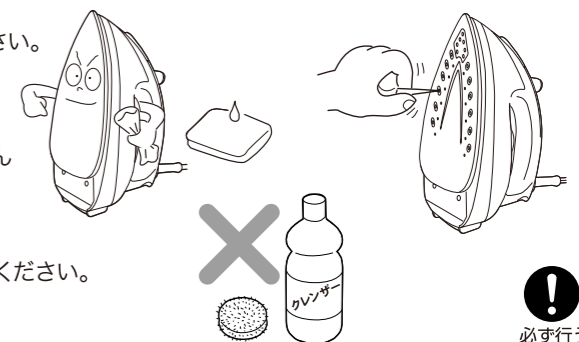


### ■お手入れの仕方

- 本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭きとってください。

- ※ 金属ブラシ、みがき粉、シンナー、ベンジン、化学ぞうきんなどを使用しないでください。傷や変色の原因になります。

- スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。



### ■保管

- ※ 保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

- スチームボタンは、必ずドライ「凸」に合わせて保管してください。
- 保管の際は、商品の入っていた箱にクッション材と共に収めてください。箱がない場合はポリ袋等に収めて保管してください。
  - ・湿気の少ないところに保管してください。
  - ・保管時は上に物を載せたりしないでください。

箱がない場合  
ポリ袋でもOK



# 故障かな?と思ったら

◎次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	熱 かけ 面が か け 面 が 熱 か け 面 が 熱 か け 面 が	出 な い ス チ ー ム が	少 な い ス チ ー ム 量 が	シ ョ ッ ト が 出 な い	シ ョ ッ ト 量 が 少 な い	噴 出 孔 か ら ス チ ー ム が 水 漏 れ す る	シ ョ ッ ト ・ ス チ ー ム 噴 出 孔 の 腐 食 ・ シ ョ ッ ト ・ ス チ ー ム 噴 出 孔 の 詰 り	か け 面 の 滑 ら な い	か け 面 が 滑 ら な い	こ 布 地 が ち ぢ む	原 因 処 置
差込プラグ	●	●		●		●					差込プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか? (処置)差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
温度調節 ダイヤル	●	●	●	●	●	●				●	ダイヤル目盛りは布地に合った適切な位置になっていますか? (処置)ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。
スチーム ボタン		●	●								スチームボタンがドライ「凸」になっていませんか。 (処置)①スチームボタンを押し上げてスチーム「長凸」に合わせてください。 ②アイロンを水平にしてスチームボタンをスチーム「長凸」 ←→ドライ「凸」数回切替えた後再度スチーム「長凸」 に合わせてください。
ショット ボタン				●	●	●					温度調節ダイヤルが高温「H」になっていますか。 (処置)①ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。 ②不要の布地などの上でショットボタンを数回「空打ち」 してください。 ③パイロットランプの消灯後、ショットボタンを3秒以上 間隔空けて操作してください。
ショット・スチーム 噴出孔		●	●	●	●		●				ショット、スチーム噴出孔のお手入れをされていますか。 (処置)12ページの「お手入れの方法」を見て清掃してください。
パイロット ランプ		●		●		●					パイロットランプが点灯のまま、ご使用されていませんか。 (処置)通電開始後ランプが初めて消えた後、再度ご使用ください。
使用後の 排水										●	かけ面が冷めてから水を捨てていませんか? (処置)かけ面が熱いうちに水を捨て、スチームボタンをドライ 「凸」にしてください。
かけ面									●		かけ面に何か付着物等が付いていませんか? (処置)かけ面が熱いうちに、付着物をぬれた布で拭きとってください。
繊維製品の 絵表示										●	温度調節ダイヤルの目盛りは布地に合った適切な位置になっ ていますか? (処置)目盛りを適温に合わせておすか、あて布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。  
詳しくは、14ページ「保証とアフターサービス」をご参照ください。

# 仕 様

定 格	100V-950W	50/60Hz
蒸気発生方法	滴下式	
寸 法	長さ230×幅111×高さ132mm	
質 量	約985g (コード除く質量 約870g)	
かけ面の面積	約155cm <sup>2</sup>	
タンク容量	約200cc	
電源コード	約1.8m	
自動温度調節器	温度調節範囲	約80℃～200℃
付 属 品	注水カップ(約200cc)	

# 保証とアフターサービス

**修理・お取扱い・お手入れなどのご相談**  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 保 証 書

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめの  
うえ受け取り、よくお読みのと、大切に保管してください。

**保証期間：お買い上げ日から1年間**

## 修理を依頼される時

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いて  
お買い上げの販売店、電気店またはシュアーお客様ご相談センターへお問い合わせください。

●保証期間中は  
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。  
恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シュアーお客様相談センター

〒340-0807 埼玉県八潮市新町9

TEL 048-931-3110

受付時間 月～金の9時～12時 13時～17時  
(祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く)

最新情報 | <http://www.sure-ishizaki.co.jp>

## 愛情点検

## 長年ご愛用のスチームアイロンの点検を!



このよう  
な  
症  
状  
は  
あ  
り  
ま  
せ  
ん  
か

- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようときは、ご使用  
を中止し、事故防止の  
ため、必ず販売店に点検  
修理をご相談ください。

## 便利メモ

おぼえのために記入  
されると便利です

お買い上げ日

年 月 日

販 売 店 名

型 番

# 株式会社 石崎電機製作所

東京営業所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031  
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL 06-6541-3893